

令和4年度 鹿児島県心の教育振興会議

提言

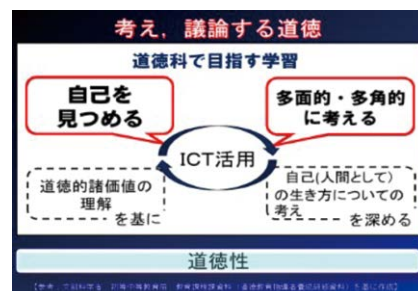
考え, 議論する道徳科の学習指導
における効果的なICT活用

令和4年度 心の教育振興会議の提言

考え、議論する道徳科の学習指導における効果的なICT活用

1. 国の動向

道徳科では、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え向き合う「考え、議論する道徳」への転換により、道徳性を養うことが求められています。また、道徳科の特質である「自己を見つめる」、「多面的・多角的に考える」といった学習活動に着目し、より効果的に行われるようにするための手段としてICTを活用することが肝要です。



2. ICTの効果的な活用

あくまでも、道徳科の目標は道徳性を養うことです。ICT活用が目的とならないように、ICT活用の利点やその効果を理解し、どのようなICT機器の機能を、どの場面で、どのように活用すれば、道徳科の学習活動がより充実するのか十分に検討しなければなりません。本会議では、道徳科におけるICT活用の利点について協議し、以下のように効果的にICTを活用できる学習活動を『自分の考えをもつ』、『他者の考えを知る』の2つに整理しました。

< 道徳科におけるICT活用の利点 >

自分の考えをもつ

- 教材文の朗読や効果音を大型モニターで提示することで、登場人物の心情に共感しやすい。
- 児童生徒の映像を提示することで、そのときの気持ちを想起しやすい。
- 無記名で入力することで、自分の考えや経験（心の弱さ、道徳的価値を実現できた、できなかった経験）を表現しやすい。
- 端末に残した記録を、振り返って自らの変容、成長を実感できる。

他者の考えを知る

- 端末に入力したそれぞれの考えを大型モニターや端末で共有することで、
ア 児童生徒にとっては、
 - ・短時間で多様な多くの感じ方、考え方に触れることができる。
 - ・グラフで傾向が把握でき、比較しやすい。
 - ・端末上において、考えを分類、整理する等、協働で活動することができる。
イ 教師にとっては、
 - ・振り返りの時間の確保につながる。
 - ・児童生徒の考えを把握でき、少数意見にも着目して紹介できる。
 - ・集約された児童生徒の考えから、指導の意図に基づいて児童生徒の考えを深める発問ができる。
- 少人数の学校間をつないで、多様な考えに触れさせることができる。



3. 各学習指導過程におけるICT活用例

(1) 導入

分かっていてもなかなか実現できない道徳的行為を想起したり、他者との道徳的価値観の違いに気付いたりして問題意識をもつ。

- 【活用例】
- 生活の様子、新聞記事等の画像の提示
 - アンケート結果の提示（グラフ、テキストマイニング）



(2) 展開前段

登場人物に自分を重ねて、その悩みや葛藤等の行為に共感したり、批判的に検討したりして、ねらいとする道徳的価値を追求する。

学習指導過程	【活用例】
<p>自分の考えをもつ</p>	<p>自分の感じ方・考え方を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心情をグラフで表現する。 ・ 端末に自分の考えを入力する。 <p>きっと私だったら、こんなとき、~すると思う。</p> 
<p>他者の考えを知る</p>	<p>他者の感じ方・考え方と比較し、他者との議論の意欲付けとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型モニターで映し出す。 ・ 端末で共有する。 ・ 自分の考えと比較する。 ・ 出された意見を分類、整理する。 ・ 新たな疑問を見いだす。 <p>なるほど、そんな考えもあるのか。でも…</p>  <p>主体的・対話的で深まりのある「他者と議論する」過程につなげるポイント 大型モニターや端末に映し出された多様な意見を基に、疑問に思ったこと、話し合ってみたいことを焦点化したり、ねらいとする価値に迫るために教師が問いを投げ掛けたりします。</p> <p>○ どうしてそう思うのかな。 ○ ~したら、どうなるかな。 ○ いつでもできるかな。 ○ 誰に対してもできるのかな。 ○ 自分ができるのはどっちかな。 ○ 自分がされたらどうかな。</p>  
<p>他者と議論する</p>	<p>主体的に交流し、多面的・多角的に考える。</p> <p>【話し合い（対話）での交流を基本とする。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 互いに聞いてみたいことを交流し合う。 <p>なるほど、そんな考えもあるのか。でも…</p> 
<p>自分の考えをもつ</p>	<p>自己の考えの変容を自覚する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心情グラフで再度表現する。 ・ 自分の考えを再度入力する。 <p>やっぱり自分は、できそうにないな。でも、~ならできそう。</p> 
<p>他者の考えを知る</p>	<p>自己の考えの変容を自覚する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰の、どんな意見を聞いて気持ちが変容したのか発表する（自覚する）。 ・ 教師が変容した考えを紹介する。 <p>〇〇さんの~という意見を聞いて~と考えが変わりました。</p> 

(3) 展開後段

高められた道徳的価値を基に、自分を見つめなおしたり、よりよい生き方を自覚したりする。

- 書く時間を十分に確保する。

(4) 終末

本時の学習を振り返り、ねらいとする道徳的価値を自分なりに受け止め実践化への意欲をもつ。

【活用例】 ● 教師の体験談、新聞記事、作文や日記、手紙等を提示する。



〔授業構想〕

1	鹿屋市立吾平小学校 第1学年（指導者 東郷 かおり 教諭）
2	主題 みんな なかよし（内容項目 B 友情，信頼）
3	教材名「およげない りすさん」（出典 文部科学省 わたしたちの道徳小学校1・2年）
4	ねらい あひるさんたちの心情の変化を考える活動を通して，友達と助け合うことで楽しく生活できることに気付き，友達のことを考えて行動しようとする心情を育てる。

【展開】

過程	主な学習活動と教師の発問	I C T活用（児童の視点から）
導 入	1 友達と仲良く助け合っている場面を想起するとともに，できなかった経験もあることを振り返ることで，問題を見いだす。	<自分の考えをもつ> ・ 学校生活の映像や画像を視聴し，友達と仲良く過ごしていることを想起する。 ・ 「いつでも，どんなときでもできていますかと」と投げかけ，問題意識を高める。
	2 本時の目標を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">いつでも，どんなときでも，友達と楽しく過ごすためには，どんな気持ちが必要だろう。</div>	
展 開	3 登場人物のことについて話し合う。	<自分の考えをもつ> ・ あひるさんたちの気持ちを色と表情で端末に入力する。 <他者の考えを知る> ・ 大型モニターで友達の考えと比較するとともに，端末を見せながら，どうしてその色と表情にしたかを交流する。
	4 教材の前半を読んで，りすさんの頼みを断ったあひるさんたちの気持ちを色と表情で考え，その理由を交流する。【人間理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">りすさんを置いていった3人は，どんな気持ちだったと思いますか。</div>	
前 段	5 教材の後半を読んで，かめさんの背中に乗って，みんなで島に向かうときのあひるさんたちの気持ちを色と表情で考え，その理由を交流する。【価値理解・他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">かめさんの背中に乗って島に向かうみんなは，どんな気持ちになったと思いますか。</div>	<自分の考えをもつ> ・ かめさんの背中に乗って，島に向かうみんなの気持ちを色と表情で端末に入力する。 <他者の考えを知る> ・ 大型モニターで友達の考えと比較するとともに，どうしてその色と表情にしたかを交流する。
	6 表現した色や表情が変わった理由について考え，交流する。【価値理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">誰の気持ちを考えた行動だと思いますか。</div>	
展 開 後 段	7 これまで友達と楽しく過ごしていたかを振り返ったり，今日の学習で大切だと思ったりしたことを考え交流する。	<自分の考えをもつ> ・ 導入で提示した映像を再度視聴することで，考えの変容に気付いたり，類似体験を想起したりする。
終 末	8 仲良く助け合っている映像を見ながら，「語り合おう」を歌う。	<自分の考えをもつ> ・ 友達との学校生活の様子を視聴しながら歌うことで，友達と仲良く助け合おうとする意欲を高める。

〔授業構想〕

1	南さつま市立万世小学校 第3学年（指導者 前野 孝太 教諭）
2	主題 正直に明るい心で（内容項目 A 正直，誠実）
3	教材名「六セント半のおつり～リンカーンの話～」（出典 文部科学省 わたしたちの道徳小学校3・4年）
4	ねらい エイブの行為に共感したり，間違えたときに誠実に行動する意義を交流したりすることで，正直に行動して明るい心で生活していこうとする意欲を高める。

【展開】

過程	主な学習活動と教師の発問	I C T活用（児童の視点から）
導 入	1 誰もいない図書館で，本を少し破いてしまったときの行動について交流し，問題を見いだす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">みなさんなら，本を少し破いてしまった時，正直に言いますか。（選択）</div>	<自分の考えをもつ> ・ 自分の取り得る行動を選択して，端末に入力させる。 <他者の考えを知る> ・ 集計結果を大型モニターに映し出し，その理由を交流する中で，考え方，感じ方の違いに気付き，問題を見いだす。
	2 本時の目標を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">正直に言うためには，どのような気持ちや考えが大切だろうか。</div>	
展 開 前 段	3 エイブの気持ちを考えながら，教材「六セント半のおつり～リンカーンの話～」を聞く。	
	4 10km 離れた女性の家へ，おつりを返すために寒い夜道を歩くエイブの心情を考える。【人間理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">エイブは，どんなことを考えながら歩いていたと思いますか。</div>	<自分の考えをもつ> ・ 風の音（効果音）を聞くことで，暗くて寒い中，遠い道のりを歩いたエイブの心情に共感して考える。
	5 女性におつりを返すことのできたエイブの心情を考える。【価値理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">おつりを返したエイブは，どんな気持ちだったと思いますか。</div>	<自分の考えをもつ> ・ エイブの気持ちを端末に入力し，自分の考えをもつ。 <他者の考えを知る> ・ 友達の考えを端末で確認し，多くの考えに触れる。
	6 暗くて寒い中，エイブがおつりを返しに行った理由について互いの意見を交流する。 【価値理解・他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">おつりを返しに行くのは，今日でないとだめだったと思いますか。</div> (1) 近くの友達と対話による交流をする。 (2) 自分の考えや友達の意見でなるほどと思った考えを発表する。	<他者と議論する> ・ 端末の内容を確認し，「今日じゃないとだめなのか」という新たな疑問を投げかけ交流させることで，エイブの行った行動や心情をより深く考える。
展 開 後 段	7 導入の場面を振り返り，正直に行動するために大切にしたい気持ちについてノートに書いて発表する。	
終 末	8 自分の過ちを友達に正直に話して，何でも話し合えるようになった教師の経験談を聞き，正直に行動していこうとする意欲を高める。	

〔授業構想〕

- 1 始良市立始良小学校 第6学年（指導者 井上 新悟 教諭）
- 2 主題 相手の立場に立って（内容項目 B 親切, 思いやり）
- 3 教材名「最後のおくり物」（出典 文部科学省 わたしたちの道徳小学校5・6年）
- 4 ねらい

ロベータにお金を渡していたジョルジュじいさんの心情を多面的に考える活動を通して、相手の立場で親切にすることの大切さに気づき、どうすれば相手のためになるのか考えた行動をしようとする心情を育てる。

【展開】

過程	主な学習活動と教師の発問	ICT活用の工夫（児童の視点から）
導 入	1 アンケート結果を見て、相手によって親切にできたり、できなかったりした場面を想起し、問題を見いだす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">どうして、親切にできたり、できなかったりするのだろうか。</div>	<p><自分の考えをもつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業前に端末を活用して、アンケートに答えておき、集計結果を基にこれまでの経験を振り返る。
	2 本時の目標を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">本当の親切とは、何だろう。</div>	
展	3 本当の親切とは何かを考えながら、教材「最後のおくり物」を聞く。	<p><自分の考えをもつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 録音された教材文の範読を聞く。
	4 ロベータやジョルジュじいさんが行った親切と親切にした理由について考える。【価値理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">二人が行った親切な行いとは何ですか。</div>	
開 前	5 ジョルジュじいさんがロベータにお金と手紙を送るとき、どうして自分の名前を書かなかったのかを考え、交流する。【価値理解・他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">なぜ、ジョルジュじいさんは、手紙に名前を書かなかったのだろうか。</div>	<p><自分の考えをもつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名前を書かなかった理由を端末に入力し、自分の考えを明確にする。 <p><他者の考えを知る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末上で、対話をしながら、意見を分類することで、相手の考えを深く理解する。 ・ 端末やモニターで他の班の分類結果を見て、更に多様な考えに触れる。
	6 ロベータのために、名前を書かなかったとはどういうことなのか考える。【価値理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">「ロベータのことを思って」とはどういうことだろうか。</div>	
展 開 後 段	7 今回の学習を通して、本当の親切とは何かを考え、発表する。	
終 末	8 絵本「ねずみくんのきもち」の読み聞かせを聞いて、相手の立場を考えて親切にしようとする心情を高める。	<p><自分の考えをもつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターの絵本を見ながら、読み聞かせを聞く。

道徳科授業映像DVD 校内研修活用例

DVDには、提言をまとめた総論が10分間、小学校授業映像（30分間×3本）が収録されています。本活用例は、総論を事前に視聴し、校内研修70分間の中で、1つの小学校授業映像を視聴して実施した想定で考えられています。校内研修の時間や進め方は、各学校の実態等に応じて工夫してください。

1 準備

- ・DVD（事前にどの授業を視聴するかを選択）
- ・リーフレット（県教育委員会HP ホーム>教育・文化・交流>心の教育>令和4年度心の教育振興会議からダウンロード）
- ・教材「わたしたちの道徳」（文部科学省HP トップ>教育>小学校、中学校、高等学校>道徳教育からダウンロード）
- ・付箋紙（ピンクと黄） ・DVDを視聴できる機器、プロジェクター、スクリーン等

2 進め方の例

進め方の説明 (5分)

◇ 今回の研修のねらい、流れ、時間設定等の進め方を説明します。

○ 本日の研修のねらい

授業映像を見て、指導方法の一つであるICTを活用することで、どのような効果が期待できるか協議し、自校の活用の在り方について共通理解を図ります。

○ 流れ

- ・ 授業映像を視聴しながら、以下の視聴の視点で付箋紙に記入していきます。
- ・ 視聴後、付箋紙に書いたものを基に協議します。

<視聴の視点>

- ① 授業で見られたICT活用 ピンク
- ② ①の活用により、見られた具体的な児童の言動 黄
(自分との関わりで考える姿、多面的・多角的に考える姿等)

授業展開等の確認 (5分)

◇ 視聴前に、各自でリーフレット、教材に書かれた内容を確認します。

- リーフレット
内容項目、主題名、教材名、本時のねらい、学習展開を確認します。
- 教材
映像では、教材の範読はカットしてあるので、事前に読んでおきます。

DVDの視聴 (30分)

◇ 視聴の視点を基に付箋紙に記入していきます。

- 視聴の時間が30分間確保できない場合は、事前に視聴場面を精選しておきます。

グループ協議 (20分)

◇ 視聴の視点を基に、グループで授業を分析します。

- 1 一人一人付箋紙に書いた内容を紹介します。
- 2 ICT活用の効果について話し合います。

- グループごとに台紙に付箋を貼り、類型化や焦点化などを通して、協議を深めます。
- 指導方法だけでなく、児童の姿にも着目した意見交換をします。
- 視聴した授業の改善点も取り上げ、その解決策を話し合います。

振り返り (5分)

◇ グループの代表者が話し合ったこと、今後実践していきたいことを発表します。

- 振り返りの中で、学校全体での実践事項につなげていけるようにします。

指導助言 (5分)

◇ 外部講師や管理職から指導助言を受けます。

令和4年度鹿児島県心の教育振興会議委員

○ 假屋園 昭彦	委員	鹿児島大学教育学部	教授
○ 田 實 澄恵	委員	県PTA連合会	副会長
○ 川 路 道文	委員	鹿児島立南小学校	校長
○ 長 元 武彦	委員	鹿児島市立喜入中学校	校長
○ 有 村 和章	委員	県総合教育センター	研究主事
○ 山 口 親悟	委員	南さつま市教育委員会	指導主事
○ 寺 地 瞳	委員	始良市教育委員会	主任主査兼指導主事
○ 塩 向 哲哉	委員	志布志市教育委員会	参事兼指導主事
○ 諸 平 幸奈	委員	鹿児島市立西紫原小学校	教諭
○ 前 野 孝太	委員	南さつま市立万世小学校	教諭
○ 小 野 春香	委員	薩摩川内市立川内小学校	教諭
○ 井 上 新悟	委員	始良市立始良小学校	教諭
○ 東 郷 かおり	委員	鹿屋市立吾平小学校	教諭
○ 鮫 嶋 宏治	委員	鹿児島市立長田中学校	教諭
○ 大 迫 克弘	委員	鹿児島市立城西中学校	教諭

